

台東区 入退院時情報連携シート コラム

平成31年3月号 No. 2



■ 入退院時情報連携シートの活用事例紹介

「病院は本人から情報を聞き出せていない状況だったが、連携シートを活用して情報共有ができた」

患者：60歳代 糖尿病その他関連疾患併発

患者は医療に対する不信感を持っており、入院先の看護師による聞き取りにも応じなかった。患者本人から担当ケアマネジャーに入院の連絡があり、連携シートを病院へ持参した。入院後、患者は透析を受けることになった。

連携シートによる情報提供及び連携したことで良かった点

病院側は、担当ケアマネジャーの情報も聞き出せておらず、連携シートを持参した際に「来てくれてよかった」と言われた。連携シートの提出により患者の入院前の生活状況や性格を伝えることができた。



担当ケアマネジャーの感想

連携シートの提出をきっかけに病院と連携がとれて、透析を受けることや退院の日程調整の連絡を早期にいただきました。本人からの情報提供は本人の主観が混じるため、病院から客観的な情報を収集できて良かったです。

■ 連携シートを提出する際のポイント

病院担当者との連携について

患者さんが入院し、連携シートの提出が必要になった際には、まずは病院の地域連携室等にご連絡ください。退院後も患者さんが安心して療養生活を送れるよう、病院との連携の1つのツールとして連携シートをご活用ください。区内病院の連絡先は、「台東区 入退院時情報連携シートの手引き」の2ページ目「5 区内病院の連絡先（提出先）」をご参考ください。

■ 連携シートを提出する際の注意点

FAXでの情報提供について

FAXで情報提供をする際は、送信する前後に病院へ連絡し、「これからFAXを送ること」、「FAXが届いたか」を確認してください。



FAXで送付するシートは、名前の一部を黒く塗りつぶす等、個人が特定されないようにご配慮をお願いいたします。黒塗りをしていない原本のシートは、後日病院へ郵送または持参してください。

(発行) 台東区 健康課 医療連携担当 電話:(5246)1215